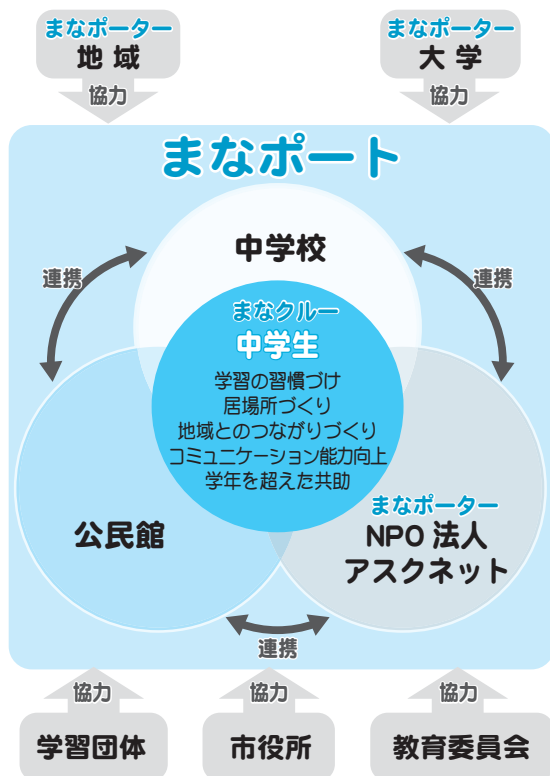




まなポート 開講中!!

中学生の学びをサポート

協働推進生涯学習課 ☎(45)6215



市内4公民館で実施している中学生学習支援「まなポート」。地域の社会人や大學生が中学生の学習を支えています。

毎週土曜日の午後、公民館に「まなクルー」と呼ばれる中学生が集まります。自習の予定を立て、夕方まで自分の立てた目標に向け学習します。彼らの分からない部分に助言をしたり、集中の切れそうな場面を支えるのは、地域の大人たち「まなporter」。家とも、学校とも違う、中学生にとっての第三の場所となる学びの場「まなポート」をご紹介します。

『まなポート』という名称には、「学び」と「サポート」、そして皆が集まり、力を蓄え船出する「ポート(港)」という意味が込められています。

Voice まなクルー （中学生）

まなポートに通っている二人の中学生（まなクルー）に、まなポートに対する思いを聞いてみました。

まなポートに通い始めたきっかけは何でしたか？

角田 学校で配られた「まなクルー募集」のチラシを見て興味を持ち、自分から親に相談して参加しました。大岩 親が広報おおぶの記事を見て勧めてくれました。もともと塾に行くつもりはなかったのですが、無料ということもあって参加してみました。

まなポートのタイムテーブル

13:45 ~ 14:00	準備・受付
14:00 ~ 14:20	あいさつ・目標設定
14:20 ~ 15:10	第1ターム(学習)
15:10 ~ 15:20	休憩
15:20 ~ 16:10	第2ターム(学習)
16:10 ~ 16:40	学び直し・振り返り
16:40 ~ 16:50	連絡・帰りのあいさつ
16:50 ~ 17:00	片付け・退室



大府北中2年 大岩ゆうさん(左)
同3年 角田楓さん(右)

まなポートのどんなところが良いですか？

角田 学校の授業で分からなかったこと、先生から聞き漏らしたことなどについて、まなポートに積極的に聞いています。学校は1クラスに積極的に聞いていますが、まなポートにはまなポーターがたくさんいるので、気軽に質問できます。

Voice 卒業生



昨年度卒業生
鈴木美羽さん

自分を支えた第三の「居場所」

勉強の習慣付けをここで学べたら、高校にも合格することができた

大岩 家では集中して勉強することが苦手ですが、ここに来ると集中できます。学校で確認できなかったところが、週末のまなポートで確認できるようになるのがうれしいです。

3学年と一緒に学んでいますか？生徒同士の関わりはありますか？

角田 学年に関係なく、みんなが仲よく勉強しています。学校では接点がない



生徒同士で教え合う姿

と思っています。また、学校で落ち込むことがあったときなどは、週末にみんなと話すことを楽しみに1週間頑張っていたこともあり、自分にとってまさに大切な居場所でした。

高校生になった今も、当時お世話になった恩返しのため、時々ここに来て生徒たちの勉強をみたり、生徒たちやスタッフさんたちと話したりして楽しく過ごしています。

かったけれど、ここで知り合って仲良くなつた子もいます。大岩 先輩が先輩にアドバイスしてあげたり、「ここはテストに出るよー」など、ためになる情報をもらえたりすることもあります。

まなポートに来てから、自分の中で変化はありましたか？

角田 私も下級生の子などに勉強を教えたりすることがあり、そこに楽しみを感じます。いつかはまなポーターみたいになれたらと憧れています。

大岩 これまで、週末の夜遅くに焦って宿題をしたりすることもあったけれど、ここに来るようになって、勉強の習慣付けができるようになりました。来年は3年生になりますが、継続してここに来てみんなと勉強したいです。



Voice まなポーター (学習サポーター)

学習支援を行う地域の大人(まなポーター)。子どもたちとの関わりから感じたことを聞きました。



至学館大学
子ども健康・教育学科2年
田中里美さん

また、まなポーターは、勉強をする場であると同時に、生徒たちの居心地の良い居場所でもあります。そのため、集中するときと楽しむときのさじ加減に気を配っています。私自身も生徒たちと話をすることを楽しみにしているので、来てくれる生徒たちが、楽しく話をすることで学習できるように努めています。

指導ボランティアを通して

生徒たちに教えながら、自分自身も学ぶことが多いと実感しています。教えたことを復習しながら、日々分りやすい教え方を模索しています。また、他のまなポーターが教えているところを見るのも参考になります。

まなポーターに集うみんなに対して、家族に似たような感覚もあり、責任感もあります。私は昨年度の発足時から参加していますが、今後もずっと続けていきたいと考えています。

生徒たちには、夢を持ち、「やりた」と思うことを諦めないでほしいです。まなポーターは、自分たちの将来のことなどを話し合ったり、好きなことを発見したりして、一人一人が輝ける場所。これからも生徒たちと一緒に、そんな居場所づくりを大切にしていきたいです。

やりがいや、工夫していること

自分なりに工夫して教えたときに、生徒たちが理解してくれるとうれしくて、やりがいを感じます。

Voice まなポーター (統括リーダー)

まなポーターを運営する立場での、まなクルー、まなポーターへの思いを聞きました。



特定非営利活動法人
アスクネット
浅井朋香さん

それぞれの個性を伸ばしてあげたい

私たちは、まなポーターの理念である「自ら学ぶ力」「自ら将来に向けて歩いていく力」を育むことを大切にしています。そのため、生徒たちの「個性」を重視します。勉強や部活だけでなく、ここではさまざまな特性に着目し、いち人間として自ら活動できるような環境づくりを心掛けています。

スタッフも皆個性豊かなので、生徒たちの個性に合わせて対応し、楽しく過ごせるよう工夫しています。どんなことでも、生徒たちそれぞれの得意なことを発掘し、伸ばしてあげたいと思っています。

まなポーターでは、苦手科目や教わりたいことについて生徒たちが自身で考

え、それにスタッフが向き合う形を大切にしています。自主的に自分の立ち位置を知り、目標を立て、意識を変えていく。そうすることで、勉強の習慣付けができていくと考えます。

授業後に職員とまなポーターで行うスタッフミーティングでは、生徒への対応を相談し合ったり、互いの教え方のよかったところを伝え合ったりしています。教える側にも、個々の得意を生かしてほしいと願っています。

今後の展望として、いろいろな人や地域のコミュニティとの連携を図っていきたくと考えています。彼らには、地域の方々からも学んでほしい。家でも学校でもない、第三の立ち位置の大人が相談相手にいるのも、面白いのではないのでしょうか。



スタッフミーティングの様子

まなポーター(学習サポーター)になってみませんか!!

子どもたちの「主体的に学ぶ力」を育てるお手伝いをしませんか？ 世代を超えた信頼関係を結び、地域でのつながりをつくることもできます。子どもたちを支えるボランティア活動を通して、自らも挑戦・成長したい方におすすめです。なお、まなポーターは無償ボランティアとなります。



こんな方はぜひ！

- 教員を目指している
- 子どものチャレンジを応援したい
- 子どもを楽しませる講座やイベントに興味がある
- 効果的な学習方法を研究したい

まなポーターになることができるのはどんな人？

15歳以上で、まなクルーの学習をサポート可能な方であればどなたでも可能です。現在、大学生のほか、教育関係の仕事で定年退職された方、会社員の方など、さまざまなバックグラウンドを持つ方がまなポーターとして活躍しています。



活動日時や場所は？

日時：毎週土曜日 午後2時～5時(年末年始を除く。毎週参加できなくても構いません)
場所：横根公民館、東山公民館、長草公民館、森岡公民館のいずれか

申し込み・問い合わせ

電話でNPO法人アスクネット(☎052(881)4349)へ。見学や体験も可能です。

まなクルー(中学生)も募集しています！ 興味のある方は、実施館での見学や体験も可能ですので、お問い合わせください。

「まなポート」という港で成長し、
未来の地域力となってほしい



協働推進生涯学習課
生涯学習係 まなポート担当
平松雅也

まなポートは、「おおぶ子ども・子育て八策」の一つとして、子どもたちの学習の習慣付けや予習復習のサポートを通して「生きる力」の醸成を図るため、平成29年度から実施しています。

昨今、地域における教育力の低下や家庭での孤立など、子どもたちを取り巻く環境はますます複雑化しています。これらの解決には、地域全体が連携・協働し、継続的に子どもたちとの関わりを強化していく必要があります。

まなポートは、学習の場にとどまらず、第三の居場所としての機能や、世代間を超えた交流の場となるなど、さまざまな効果を発揮しています。

地域の将来を決定するのは、地域に育つ子どもたちです。まなポートという港で成長し、旅立って行く彼らが将来生まれ育った港に戻り、地域の大きな力となる。そんな願いを込め、今後より力強く事業を推進していきます。